



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 小松マテーレ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3580 URL <https://www.komatsumatere.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 大輔  
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 中村 重之 (TEL) 0761-55-8000  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	30,601	3.6	1,920	△0.8	2,484	1.3	764	△71.3
2025年3月期第3四半期	29,529	8.8	1,935	38.9	2,451	20.9	2,665	82.8
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期	1,211百万円(△60.2%)		2025年3月期第3四半期		3,046百万円(42.5%)			
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
2026年3月期第3四半期	円	銭	円	銭				
2026年3月期第3四半期	19.52		—					
2025年3月期第3四半期	66.54		—					

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	50,927	39,046	76.4	1,007.34
2025年3月期	53,026	39,701	74.6	998.19

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 38,904百万円 2025年3月期 39,558百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2026年3月期	—	14.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				13.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 小松美特料（蘇州）諮詢有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年3月期 3Q	39,240,999株	2025年3月期	43,140,999株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	619,882株	2025年3月期	3,510,396株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	39,168,560株	2025年3月期 3Q	40,050,627株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復がみられました。一方で、米国の通商政策の動向や地政学的リスクを受けた資源価格の変動、為替動向、ならびに物価上昇の継続が企業活動や個人消費に及ぼす影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような経済環境の中、当社事業については、国内向けは営業活動を強化した衣料分野を中心に基調に推移し、生活関連資材分野は好調となりました。海外向けにおいては、欧米、中東、アジア等へさらなる拡販に努めてまいりました。それと同時に当社グループにおける取り組みとして、収益構造の見直しや労働環境の改善のための設備投資を進めてまいりました。具体的には、将来へのDX推進の一環として新たな基幹システムの構築を進めるとともに、高収益化やエネルギーの有効利用を目的とする高効率設備の導入を図ります。

こうした状況のもと、当社グループでは、企業価値向上を図り、高収益企業を目指した中期経営計画「KFW-2026」の達成に向け、2024年より様々な具体的な施策を実行しております。

本中期経営計画を踏まえた今期事業計画のもと、11月には、市場ニーズを受けて開発した新素材「QUATTRONI TK(クアトローニ・ティー・ケー)」をリリースいたしました。本新素材は従来からの素材である「QUATTRONI(クアトローニ)」の4つの特性「軽い・薄い・柔らかい・ムレにくい」に加え、水に浸しても外観変化が起きにくい「低膨潤性」を新たに実現しております。本新素材で、スポーツ・アウトドア・ユニフォーム等の高機能が求められる市場のみならず、ファッショングループへの展開も図っております。

さらに、当社の汚泥減容化バイオ製剤「ベリフォーマー」につきましては、2025年10月に「グッドデザイン・ベスト100」を受賞いたしました。余剰汚泥の発生を最大100%削減しようとする優れた発想と技術やSDGsの観点から、高い評価が得られました。本受賞をきっかけとし、当ベリフォーマー事業の認知度向上や販路拡大を図り、サステナビリティへの取り組みを加速してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は306億1百万円（前期比3.6%増）となり、営業利益は19億20百万円（前期比0.8%減）、経常利益は24億84百万円（前期比1.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億64百万円（前期比71.3%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

#### (繊維事業)

衣料ファブリック部門に関しては、市場の要求に応えられる高付加価値商品や環境配慮型商品を国内外の市場に積極的に訴求し、拡大を進めてまいりました。当第3四半期連結累計期間では、欧洲ラグジュアリーブランド向けファッショングループが堅調に推移し、国内ファッショングループや中東民族衣装は増加いたしました。一方で、中国等のアジア向けのファッショングループやスポーツ・機能分野における受注が減少したことから、当部門全体では減収となりました。

資材ファブリック部門については、リビング分野において不採算事業から撤退したものの、生活関連資材分野が大幅に増加したことから、当部門全体として増収となりました。

製品部門におきましては、連結子会社の事業拡大により、増収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は302億26百万円となりました。

#### (その他の事業)

物流分野の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億75百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、509億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億98百万円減少しました。これは主に有形固定資産が13億30百万円、無形固定資産が6億3百万円増加したものの、現金及び預金が31億24百万円、有価証券及び投資有価証券が9億47百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、118億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億43百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が6億17百万円、未払法人税等が4億11百万円、賞与引当金が3億67百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、390億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億54百万円減少しました。これは主に自己株式の消却等による自己株式の減少により33億13百万円、その他有価証券評価差額金が4億61百万円増加したものの、自己株式の消却等により利益剰余金が44億15百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年10月30日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	9,430	6,306
受取手形	1,231	1,333
売掛金	6,471	6,145
有価証券	4,000	4,290
商品及び製品	1,656	1,620
仕掛品	948	879
原材料及び貯蔵品	1,985	2,565
その他	182	233
貸倒引当金	△20	△17
流動資産合計	25,885	23,357
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	8,009	9,340
無形固定資産	1,800	2,403
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	16,185	14,948
繰延税金資産	908	620
その他	382	404
貸倒引当金	△145	△145
投資その他の資産合計	17,331	15,826
<b>固定資産合計</b>	<b>27,140</b>	<b>27,570</b>
<b>資産合計</b>	<b>53,026</b>	<b>50,927</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	5,508	4,891
未払法人税等	645	233
契約負債	131	46
賞与引当金	770	403
その他	2,114	2,319
<b>流動負債合計</b>	<b>9,171</b>	<b>7,894</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付に係る負債	3,506	3,558
その他	647	428
<b>固定負債合計</b>	<b>4,153</b>	<b>3,986</b>
<b>負債合計</b>	<b>13,324</b>	<b>11,881</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	31,998	27,583
自己株式	△3,830	△517
<b>株主資本合計</b>	<b>37,458</b>	<b>36,356</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,984	2,446
為替換算調整勘定	93	82
退職給付に係る調整累計額	22	19
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>2,100</b>	<b>2,547</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>142</b>	<b>142</b>
<b>純資産合計</b>	<b>39,701</b>	<b>39,046</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>53,026</b>	<b>50,927</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	29,529	30,601
売上原価	23,174	23,761
売上総利益	6,355	6,840
販売費及び一般管理費	4,419	4,920
営業利益	1,935	1,920
営業外収益		
受取配当金	171	166
持分法による投資利益	248	275
為替差益	3	—
その他	148	140
営業外収益合計	571	582
営業外費用		
支払利息	1	5
為替差損	—	4
不動産賃貸原価	25	—
為替予約評価損	—	4
貸倒引当金繰入額	25	—
その他	2	3
営業外費用合計	55	18
経常利益	2,451	2,484
特別利益		
固定資産売却益	82	1
投資有価証券売却益	400	321
投資有価証券償還益	101	—
関係会社清算益	711	—
特別利益合計	1,296	323
特別損失		
固定資産除却損	51	49
投資有価証券評価損	0	1,232
災害損失	26	0
資産除去債務履行差額	14	—
特別損失合計	92	1,282
税金等調整前四半期純利益	3,655	1,525
法人税、住民税及び事業税	598	676
法人税等調整額	374	84
法人税等合計	972	760
四半期純利益	2,682	764
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,665	764

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,682	764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	776	466
為替換算調整勘定	△432	△11
退職給付に係る調整額	△0	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△4
その他の包括利益合計	364	447
四半期包括利益	3,046	1,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,028	1,211
非支配株主に係る四半期包括利益	17	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2025年10月30日開催の取締役会決議に基づき、2025年11月14日付で、自己株式3,900,000株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ40億92百万円減少しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	952百万円	1,105百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,144	385	29,529	—	29,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	1,463	1,487	△1,487	—
計	29,168	1,848	31,017	△1,487	29,529
セグメント利益	1,877	49	1,927	8	1,935

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,226	375	30,601	—	30,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	1,491	1,515	△1,515	—
計	30,250	1,866	32,117	△1,515	30,601
セグメント利益	1,866	45	1,911	8	1,920

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。